

**2019** 株式会社ADEKA  
Full-year Consolidated Financial Results

2020年7月17日

**2019年度 決算説明会**

# 2019年度 決算説明

通期

2019年4月～2020年3月

代表取締役社長 城詰 秀尊

1. はじめに
2. 2019年度 連結業績
3. 2020年度 連結業績予想と事業施策
4. 中期経営計画「BEYOND 3000」の進捗状況
5. ご参考

2020年標語／海外売上高

# 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によりお亡くなりになられた方々に、謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

また、感染拡大防止にご尽力されている皆さまに心から感謝申し上げます。

## 2020年3月期決算の遅延について

当社グループの海外拠点があるインド等において、COVID-19の感染拡大防止のため、外出禁止令や再三にわたる都市封鎖の延長がなされました。

この影響により、連結決算処理等に大幅な遅れが生じ、ステークホルダーの皆様にご多大なるご心配をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。

## 2. 2019年度 連結業績

# 2019年度 連結業績の概要

## 連結

(単位：億円)

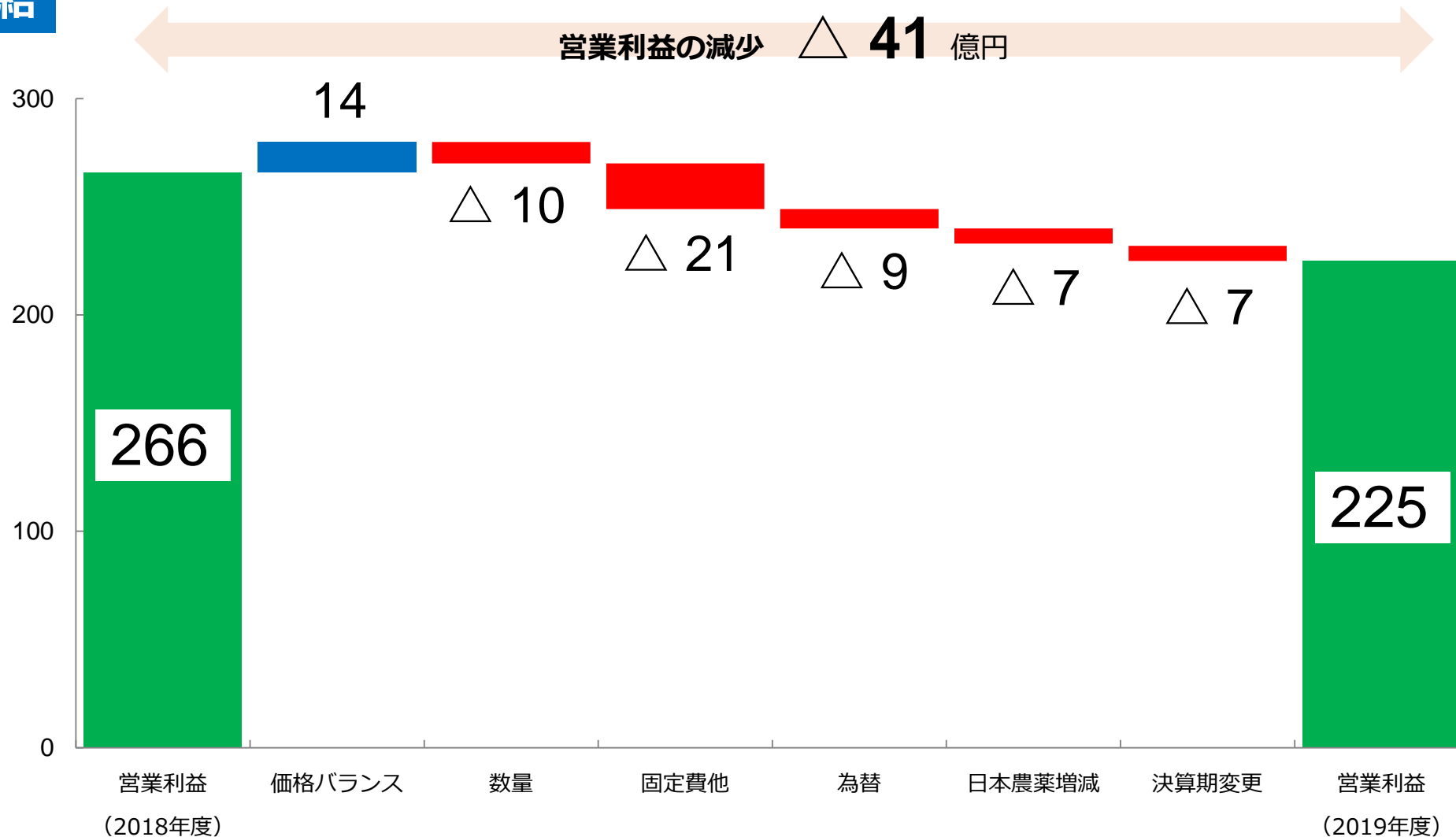
	2018年度	2019年度	増減	増減率 (%)
売上高	2,993	3,041	47	1.6
営業利益	266	225	△ 41	△ 15.5
経常利益	266	219	△ 46	△ 17.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	170	152	△ 18	△ 10.8
1株当たり 当期純利益 (円/株)	165.8円	147.7円	△ 18.1円	
配当金 (円/株)	45円	48円	3円	

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 営業利益の増減分析

連結

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



# COVID-19の影響

当グループの国内外の生産・  
販売拠点はほぼ通常通り操業

感染防止策による  
業務への支障は最小限

自動車・住宅・化粧品等  
一部製品の需要減少

パソコンやデータセンター向けの  
需要回復

第4四半期中に最も新型コロナウイルスの影響が大きかった  
中国の拠点は12月決算

2019年度の事業活動・業績に与える影響は軽微

# 決算期統一の影響

- 海外連結子会社4社の決算日を「12月末」から「3月末」に変更。
- 2019年度は、当該4社の15カ月間の実績を連結業績に算入。

## 対象会社

- **台湾艾迪科精密化学股份有限公司**  
台湾 | 化学製品の製造、販売
- **ADEKA (ASIA)**  
シンガポール | 化学製品の販売
- **ADEKA Europe**  
ドイツ | 化学製品の販売
- **ADEKA (SINGAPORE)**  
シンガポール | 加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売

(単位：億円)

	影響額
売上高	32
営業利益	2

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 連結業績推移

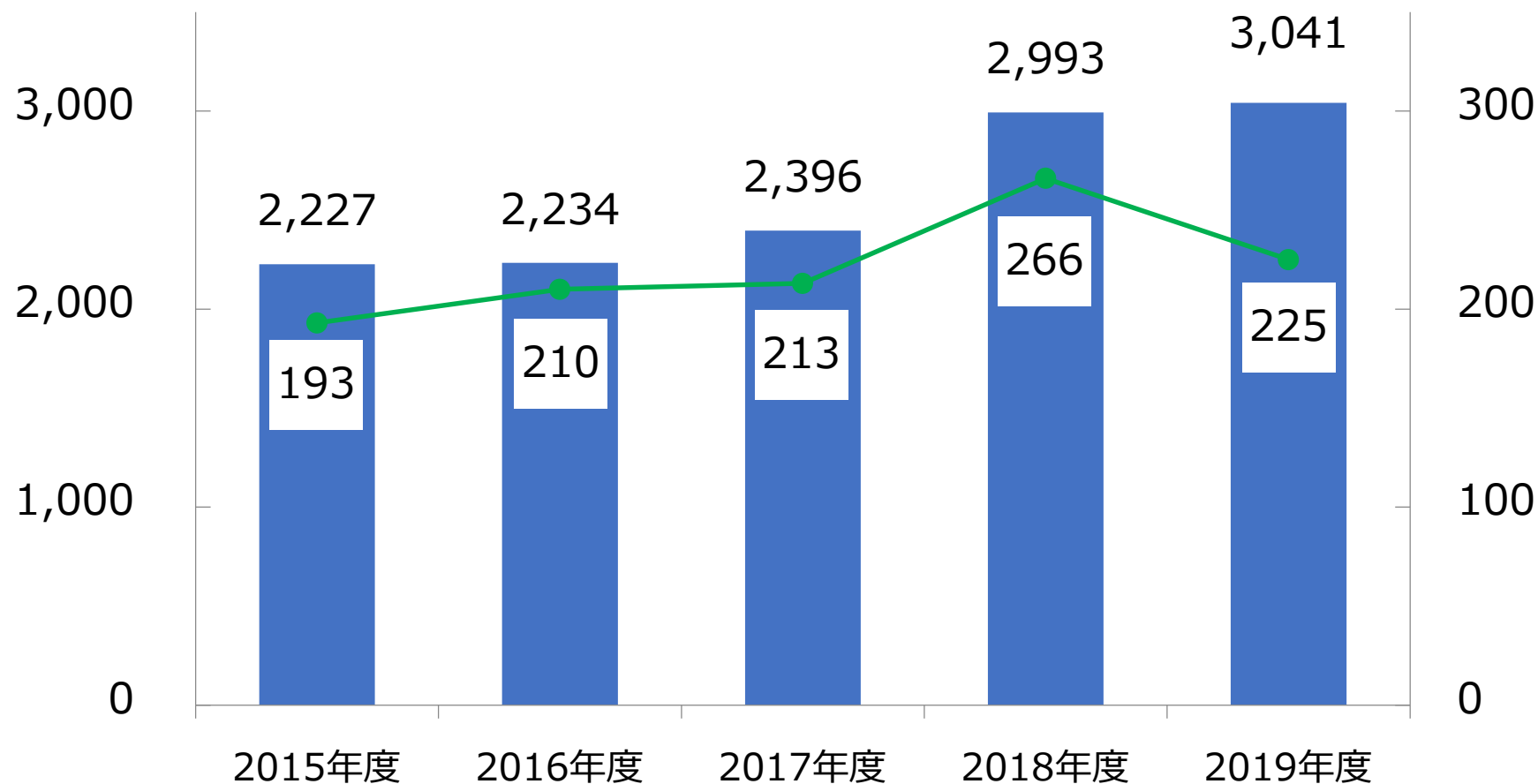
## 連結

売上高：億円

■ 売上高

● 営業利益

営業利益：億円



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 2019年度 連結業績 (セグメント別数値)

連結

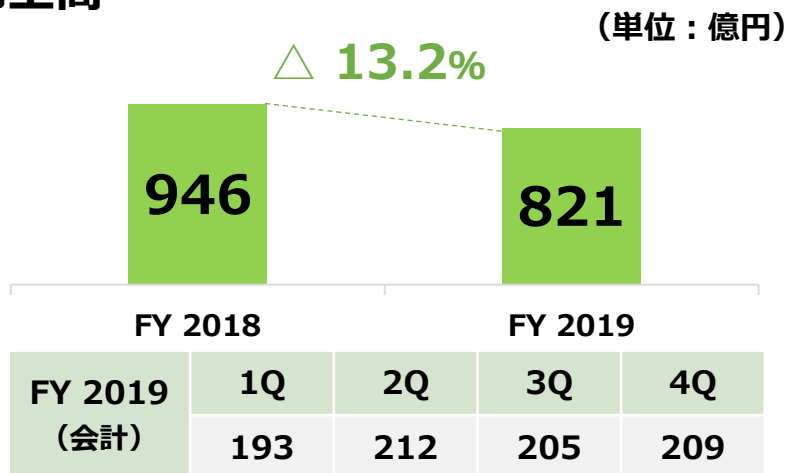
(単位：億円)

	2018年度	2019年度	増減	増減率 (%)
売上高	2,993	3,041	47	1.6
<b>化学品</b>	1,807	1,641	△ 166	△ 9.2
樹脂添加剤	946	821	△ 124	△ 13.2
情報・電子化学品	301	264	△ 37	△ 12.4
機能化学品	559	556	△ 3	△ 0.7
<b>食品</b>	717	710	△ 7	△ 1.0
<b>ライフサイエンス</b>	344	604	259	75.5
その他	123	85	△ 38	△ 31.1
営業利益	266	225	△ 41	△ 15.5
<b>化学品</b>	215	175	△ 40	△ 18.8
樹脂添加剤	69	66	△ 2	△ 4.2
情報・電子化学品	82	59	△ 22	△ 27.1
機能化学品	64	49	△ 15	△ 23.9
<b>食品</b>	12	15	3	24.9
<b>ライフサイエンス</b>	33	26	△ 7	△ 21.2
その他	4	7	3	72.4

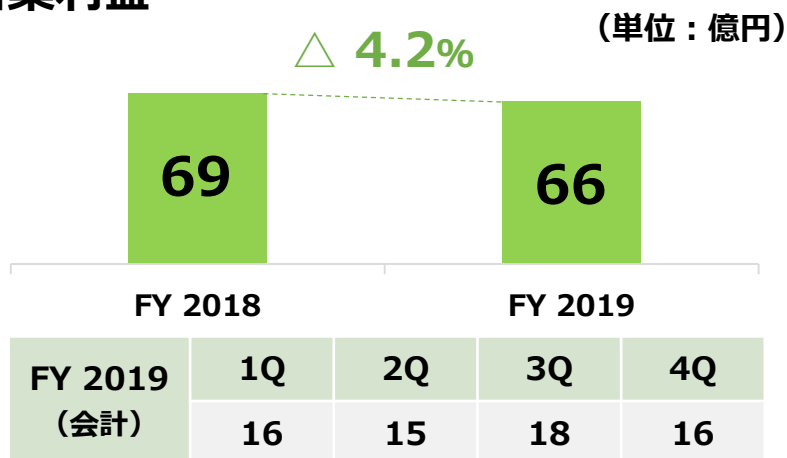
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 化学品事業（樹脂添加剤）

## ◆ 売上高



## ◆ 営業利益



### 主な要因（対前期）

#### ◆ ポリオレフィン用添加剤

低調 汎用酸化防止剤

#### ◆ 可塑剤・塩ビ用安定剤

米国、中国、東南アジアで需給バランスが悪化

低調 製品全般

#### ◆ 難燃剤

好調 エンプラ用 難燃剤

### 主な要因（対前期）

価格バランス

3億円

為替

△ 3億円

決算期変更

△ 2億円

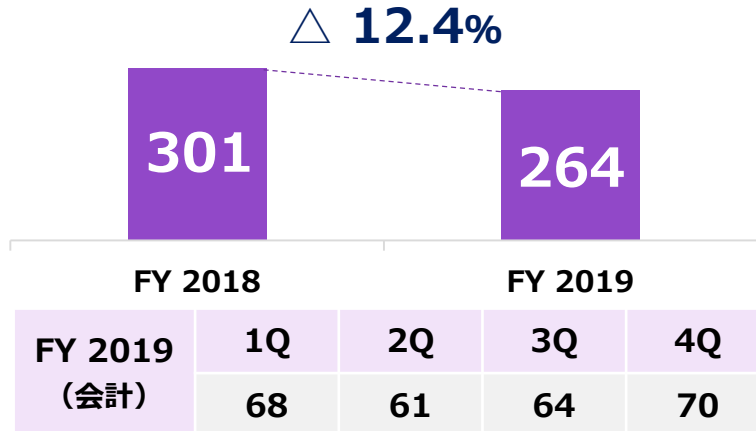
注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2018年度にフランスを含む海外子会社3社の決算期を統一しており、2018年度は15カ月分の業績となっています。

# セグメント情報 / 化学品事業（情報・電子化学品）

## ◆ 売上高

（単位：億円）



### 主な要因（対前期）

#### ◆ 情報化学品

**好調** 半導体リソグラフィ用途 **光酸発生剤**

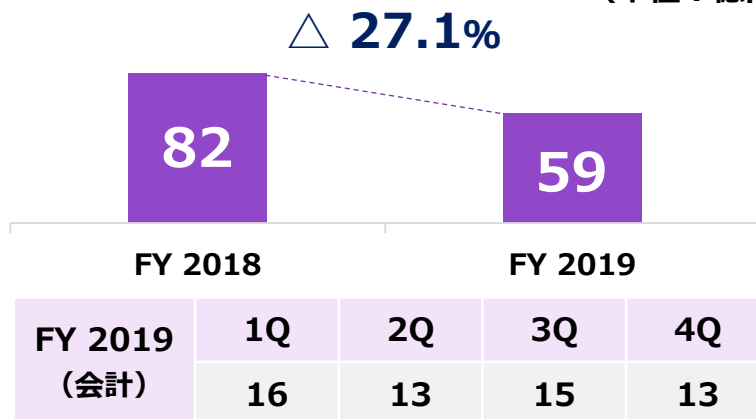
#### ◆ 電子材料

**伸長** 液晶パネル用途 **エッチング薬液**

**低調** DRAM向け高誘電材料  
NANDフラッシュ向け製品

## ◆ 営業利益

（単位：億円）



### 主な要因（対前期）

価格バランス

△ 9億円

決算期変更

△ 6億円

固定費他

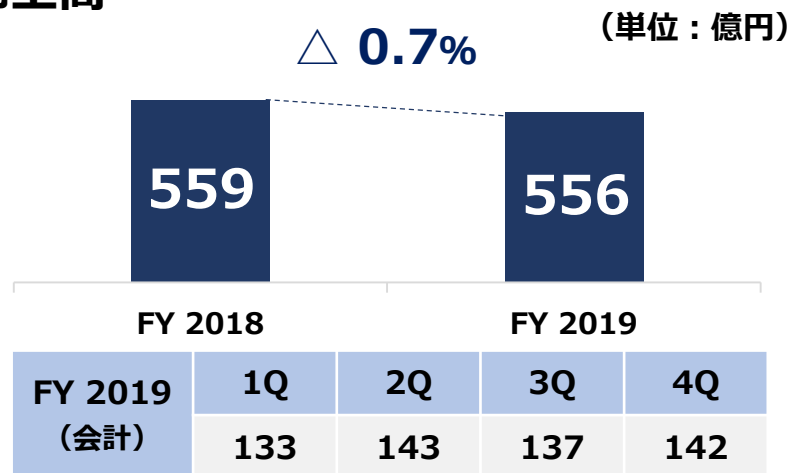
△ 3億円

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2018年度に韓国を含む海外子会社3社の決算期を統一しており、2018年度は15カ月分の業績となっています。

# セグメント情報 / 化学品事業（機能化学品）

## ◆ 売上高



### 主な要因（対前期）

#### ◆ 界面化学品

好調

保湿・ゲル化用途 化粧品原料  
塗料・粘接着剤向け 反応性乳化剤

#### ◆ 機能性樹脂

好調

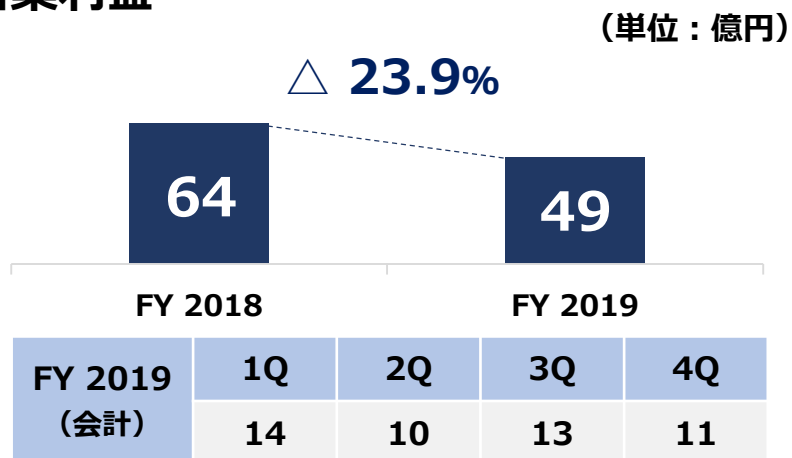
電子機器の接着用途 エポキシ樹脂関連

#### ◆ 工業用薬剤

低調

紙・パルプの漂白用途 過酸化製品

## ◆ 営業利益



### 主な要因（対前期）

価格バランス

13億円

数量

△ 13億円

固定費他

△ 13億円

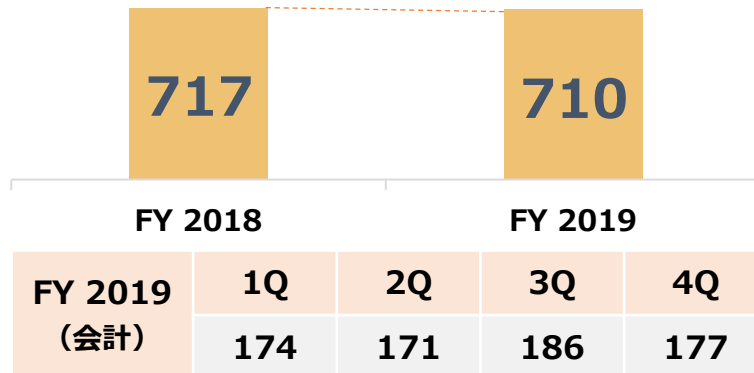
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# セグメント情報 / 食品事業

## ◆ 売上高

(単位：億円)

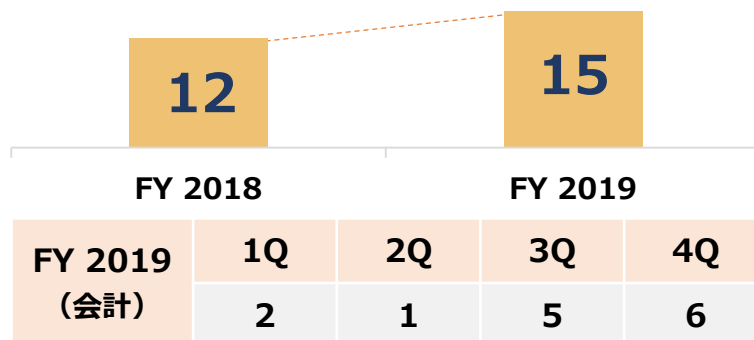
△ 1.0%



## ◆ 営業利益

(単位：億円)

24.9%



### 主な要因 (対前期)

#### ◆ 国内

**低調** マーガリン、ショートニング類

食品ロス削減、おいしさのさらなる向上

**伸長** 機能性マーガリン、ホイップクリーム

#### ◆ 海外 (中国・東南アジア)

**好調** マーガリン、ショートニング類

**堅調** フラワーペースト

### 主な要因 (対前期)

価格バランス

6億円

固定費他

△ 2億円

数量

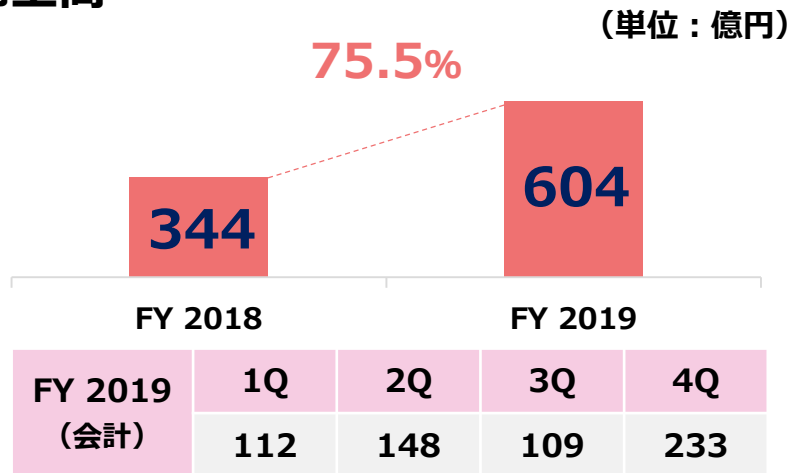
△ 1億円

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



# セグメント情報 / ライフサイエンス事業（日本農薬）

## ◆ 売上高



### 主な要因

#### ◆ 農薬

堅調

インド・欧州・北米

低調

在庫調整の影響

国内・中南米・東南アジア

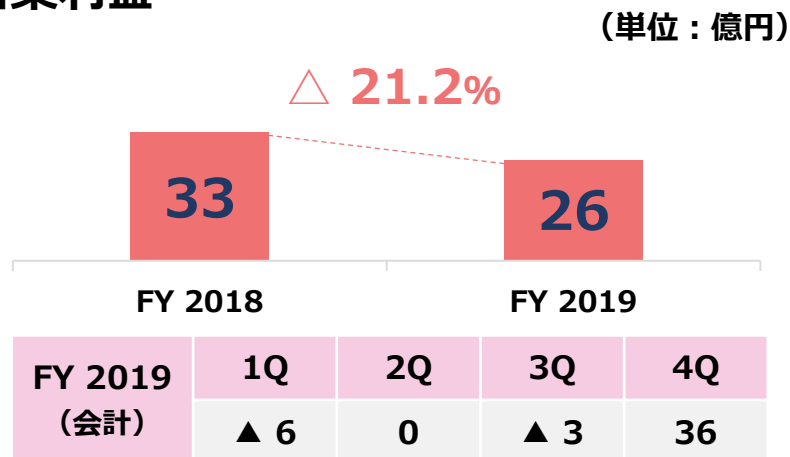
#### ◆ 医薬品

低調

足白癬分野

外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

## ◆ 営業利益



### 主な要因

農薬の不需要期を業績に取り込んだことにより減益となった

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2018年9月末に日本農薬(株)を連結化したため、FY2018は半期分(6カ月)の業績を取り込んでいます。

# 3. 2020年度連結業績予想と 事業施策

# 2020年度 連結業績及び配当予想

COVID-19による当社事業の主要対象分野及び営業活動への影響について現在精査中です。

業績予想及び配当予想の開示時期

**2020年8月12日（予定）**

2021年3月期第1四半期決算短信での公表を予定しております。

# 海外子会社の連結化

## 2020年度から、以下の非連結子会社 2 社を連結の範囲に追加

### (理由) 財務諸表上の重要性が増加したため

UAE子会社の事業拡大／中国子会社の生産開始（新工場完成）

社名	ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC
事業内容	樹脂添加剤の製造・販売、化学品・食品の販売
設立時期	2011年4月
本社所在地	UAE（アブダビ）



社名	艾迪科精細化工（浙江）有限公司
事業内容	樹脂添加剤など化学製品の製造・販売
設立時期	2017年1月
本社所在地	中華人民共和国（浙江省）



# 2020年度 市場環境見通し

## 世界経済：後退局面入りし、経済の減速が長期化する可能性

米中貿易摩擦の長期化

中国経済の成長鈍化

日韓輸出問題の継続

世界的な環境規制の強化

気候変動・天候不順

原油・資源価格の変動

### 自動車



需要は世界的に低迷、  
生産活動の停滞を懸念

部品供給網の寸断

CASEに向けた投資は拡大

コネクティッド／自動運転／  
シェアリング／電動化（軽量化）

### IT・家電



消費の冷え込みが懸念される  
が、中長期的な成長は続く

5G・データセンター投資の拡大

液晶業界の再編

テレワーク加速

### 食品



インバウンド需要が大きく減退

安心・安全

おいしさ

食品ロス削減・生産性向上

健康志向の高まり

# 2020年度 事業施策（樹脂添加剤）

対象市場

自動車／包装関連／IT・家電・建材

## 汎用酸化防止剤の販売強化

原料調達～製品供給の**トータルコストを低減**することで価格競争力を高める

グローバル市場での拡販

中国

米国

欧州

中東

## 技術優位な独自製品のさらなる拡販

1 高機能核剤のグローバル拡販

2 イントメッセント系難燃剤の売上拡大

3 環境対応品による可塑剤・安定剤の販売強化

## グローバル生産・供給体制の強化

- 完成した中国新工場（浙江省）の本格稼働
- 三重工場で新設した添加剤設備の早期量産化

三重工場

高機能添加剤設備

# 2020年度 事業施策（情報・電子化学品）

対象市場

ディスプレイ／半導体／電子部品

## 1 アジアを中心とした光材料の拡販

光硬化樹脂	光学フィルム向け拡販／中国展開を加速
重合開始剤	大型パネルのCF向けに新製品を拡販
光酸発生剤	半導体リソグラフィ用途で拡販

## 2 国内・液晶向けでエッチング薬液の販売を強化

## 3 最先端DRAM向け製品の拡販と事業領域の拡大

現行DRAM・NAND

既存品の安定供給

最先端DRAM

新規高誘電材料

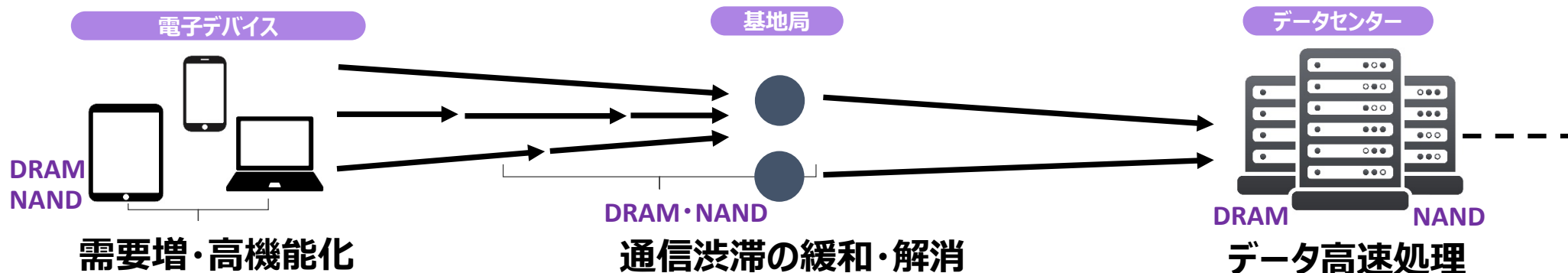
DRAM・NAND向けに加えて、

ロジックIC向けに提案強化

韓国・日本市場に続き、

中国・米国市場へ展開

## 5G通信・テレワークの加速による先端・半導体メモリ需要の拡大



# 2020年度 事業施策（機能化学品）

（自動車・輸送関連）

（電子部品・社会インフラ）

対象市場

潤滑油／化粧品・トイレタリー／コーティング・接着関連

潤滑油 外洋船舶

船舶業界への貢献

2020年から「SOx排出規制」が強化

- 燃料油変更に伴い、機器運転トラブルのリスクが増加
- 安全運航の観点から、燃料添加剤のニーズが拡大

船舶用燃料添加剤「アデカエコロイヤル」シリーズ

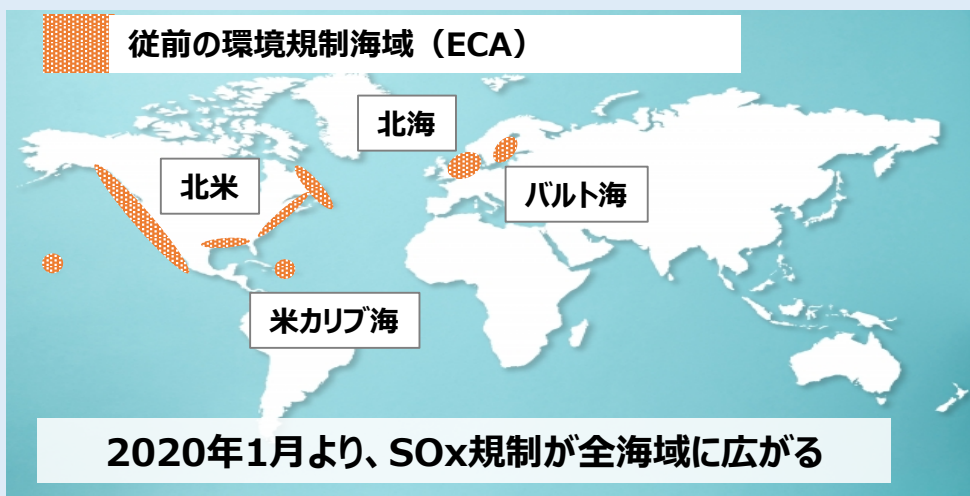
低硫黄燃料油

耐摩耗剤

スラッジ分散剤

SOxスクラバー搭載

防カビ剤



これまでの取り組み

製品力  
（機能性）

大手海運会社からの高い評価／採用拡大

問題解決  
技術支援

化学メーカーの強みを生かし、  
燃料油の分析等を技術的にサポート

供給体制

海外主要港で製品配備・供給体制を構築

注力施策

- お客様のニーズに合わせた製品開発（ワンストップ体制）
- 設備メーカーとの協業体制の構築

新しいプラットフォームを構築し、  
グローバル市場での販売拡大を目指す



# 2020年度 事業施策（食品）

対象市場

製パン／製菓／洋菓子・デザート

食品ロス削減に貢献する製品の拡販

2020年度「RISU BRAND」新製品

練込用マーガリン「マーベラス」



## 1 作業効率向上による労働力不足解消



- すぐ使える（調温不要）
- 生地に油脂を練込み易い
- 緻密な作業が不要

## 2 賞味期限延長による食品ロス削減



消費期限が  
約1.5倍に延長

- 焼立てパン特有のしっとり感・風味が持続
- 品質が長持ちし、消費期限を延長できる
- 生地が安定し、不採用品を削減できる



## 売上高 十数億円規模の製品に成長させる

持続可能な原料の使用／健康志向への訴求

- 2020年度新製品の原材料（パーム油）は全て「RSPO対応品」
- 業界に先駆けて対応済の「トランス脂肪酸低減品」をお客様に訴求（継続）

# 2020年度 事業施策（ライフサイエンス）

対象市場

農薬／医薬品／再生医療・予防医療・生活の質の向上

## 国内農薬販売

### 1 園芸用殺菌剤「パレード」などの普及拡販

- ▶ 2020年1月、セル苗灌注用途でキャベツ、ハクサイに対する農薬登録が完了（適用拡大）⇒ 販売拡大を計画

### 2 主力自社開発品目の普及拡大

園芸殺虫剤「フェニックス」

殺虫剤「コルト」

殺ダニ剤「ダニコング」

## 海外農薬販売

● インド

### 1 販売基盤の底上げ、原体製造機能強化

### 2 新規水稲用殺虫剤「オーケストラ」の開発加速

## 化学品・医薬品事業

### 1 シロアリ薬剤分野で主力品目の拡販

### 2 爪白癬分野で「ルリコナゾール」の拡販

## スマート農業への取り組みを推進

2020年4月、配信サービス開始

### スマホアプリ「レイミーのAI病害虫雑草診断（水稲版）」

農作物や圃場に発生する病害虫、雑草の防除に適切な農薬情報を検索するツール（農業生産の効率化による生産者支援の一環）

### 農薬に関する「チャットボットサービス」

農薬に関する疑問にいつでも回答

### 農薬調整支援アプリ

農薬の量や濃度を自動計算、他剤との混用事例も検索可能

### ドローン散布に適した製品開発

少量で高い除草効果を発揮する「ツルギ250粒剤」など

# 4. 中期経営計画 「BEYOND 3000」の進捗状況

# 中期経営計画「BEYOND 3000」進捗

	2018年度実績 (中計1年目)	2019年度実績 (中計2年目)	中計最終年度 (目標値)
連結売上高	2,993億円	<b>3,041億円</b>	3,000億円超 (オーガニックグロス)
内、オーガニック グロス	2,550億円	<b>2,388億円</b>	
営業利益率	8.9%	<b>7.4%</b>	10%
R O E	8.5%	<b>7.3%</b>	10%
投 融 資	362億円/年	<b>172億円/年</b>	1,000億円/3カ年
設備投資額	174億円/年	<b>172億円/年</b>	500億円/3カ年
M & A 投資枠	188億円実行	—	500億円/3カ年
配 当	配当性向27.1%	<b>配当性向32.5%</b>	配当性向30% (段階的に引き上げた最終年度目標)

\* オーガニックグロス：樹脂添加剤、化学品、食品の事業成長で売上高3,000億円超を目指す計画（M&A寄与分を除く）。

# 新製品による規模拡大

## 自動車

- ✓ 次世代車普及への取り組みが活発化

### 樹脂添加剤

#### ポリプロピレン（PP）用 高性能核剤

- ◆ PP樹脂に添加し、部材を強く・薄くできる
- ◆ 車体の強度を維持しながら軽量化でき、**燃費向上**に貢献

## IT・半導体

- ✓ 5G通信の普及により、電子デバイスの高性能化の流れが継続

### 化学品

#### 高誘電材料 （High-k 材料）

- ◆ DRAMキャパシタを薄く、均一に作る事が可能
- ◆ メモリの**大容量化**、デバイスの**小型化**や**省コスト**に貢献

## 食品

- ✓ 食品ロス削減、労働力不足の課題に貢献する、新たなニーズが表出

### 食品

#### フローズンチルド用 ホイップクリーム

- ◆ 冷凍・解凍しても食感や風味を損なわないクリーム
- ◆ 冷凍で配送し、必要な分だけ解凍でき、**食品ロス削減**に寄与

市場の変化を見据えた製品開発を実行  
『樹脂添加剤』『化学品』『食品』の3本柱の規模拡大を図る

# 光酸発生剤の拡販と半導体周辺材料への領域拡大

消費者ニーズ

電子デバイスの高機能化による快適性の追求

半導体レジストメーカーの課題

半導体の微細化を支えるリソグラフィ技術の高度化

光酸発生剤「アデカアークルズシリーズ」

i線 KrF ArFドライ ArF液浸 EUV・次世代

## 半導体フォトレジスト素材（ArF液浸）で販売が拡大

微細な回路形成／金属不純物を抑制

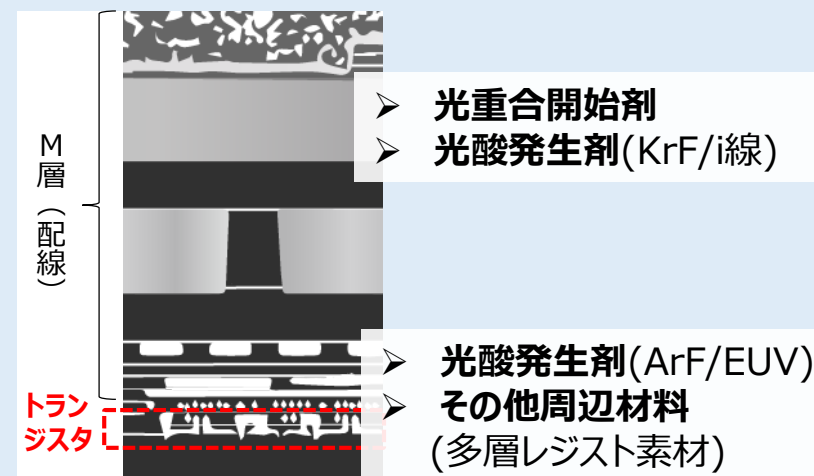
- ◆ ユーザーでの使用量が増大
- ◆ ユーザーでの新規採用を獲得

1 光酸発生剤など半導体周辺材料の生産体制を強化

2 半導体業界ではEUV露光装置による量産を開始、今後本格化へ光酸発生剤の新製品開発に注力

3 光酸発生剤で培った技術を応用し、半導体多層レジスト向け素材拡充

### 【リソグラフィ向け製品開発】



# 繊維強化プラスチック（FRP）の用途展開

ファイバーtoコンポジット成形プロセス／「アデカラシメック」シリーズ

**GH** CRAFT × **ADEKA** 共同開発

## 金型不要・短時間硬化・高強度のFRP成形を可能に

### 市場ニーズ

#### 自動車（車体）



- ・低燃費、省エネ化
- ・EV車台頭、高性能化

#### 風力発電（ブレード）



- ・再生可能エネルギー拡大
- ・発電効率向上

#### インフラ（橋梁等）



- ・インフラ老朽化増大
- ・耐震補強の制度強化

## 各市場への提案を実施、FRPの用途展開を加速

# 日本農薬とのシナジー創出



×



日本農薬株式会社

研究開発

生産技術

購買・物流

その他

生産受委託体制の構築

共通原料の共同購買、  
資材の共通化

決算期の統一、  
管理会計システムの連携

共同研究開発のテーマ決定

## 両社の技術を結集し、新しい成果物の創出に取り組む



メディカル材料の早期事業化

- ◆ ライフサイエンス分野の評価法習得
- ◆ 化合物データベースの共用・活用
- ◆ シード研究の事業化

研究者交流の活発化



日本農薬株式会社

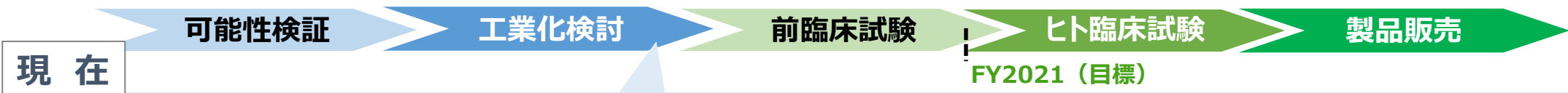
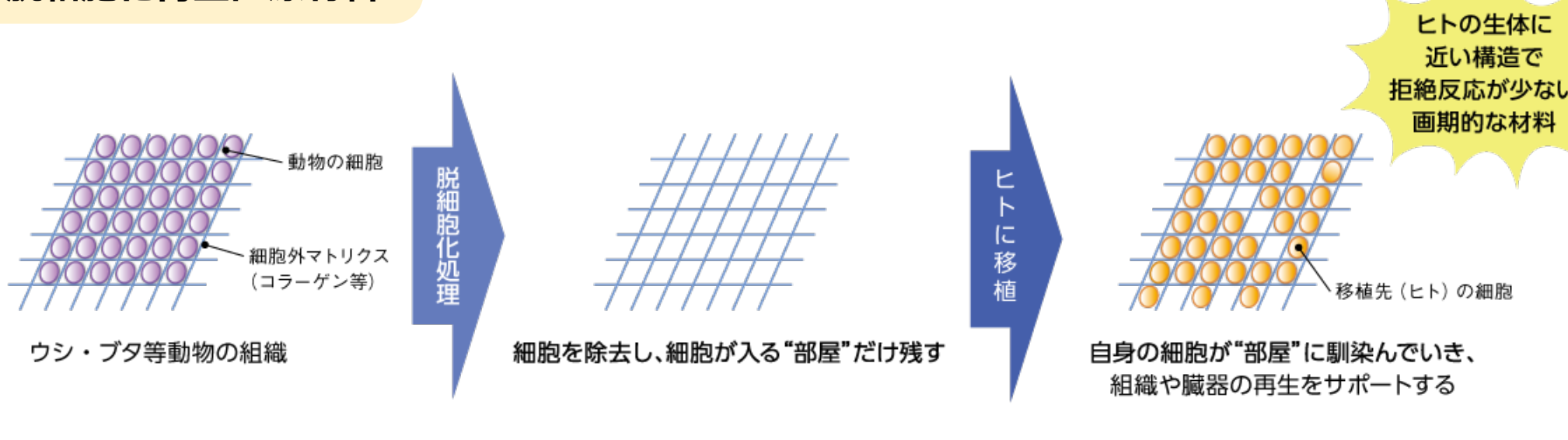
農薬・医薬事業の体制強化

- ◆ 新規薬剤の開発
- ◆ ADEKA既存技術の農業分野への応用



# 脱細胞化再生医療材料の事業化計画

## 脱細胞化再生医療材料



「ISO 13485」認証を取得、サンプル提供を開始

### 「脱細胞化ウシ心のう膜」

生体埋植時の拒絶反応が少なく、細胞の足場として機能 (細胞の定着と再構築)

- 1 国内外の医療機関への提案・ニーズ聴取
- 2 安全なサプライチェーンの確立

# 環境・エネルギー分野での事業化を推進

## 二次電池向け材料

高容量化

安全性

長寿命化

### 1 電極材料「SPAN」

レアメタルフリー  
耐発火安全性向上 良好な充放電サイクル

#### 用途

- リチウムイオン二次電池の電極活物質  
(現行LiB、全固体電池など次世代二次電池)

### 2 ナノカーボン材料「グラフェン」

導電性 熱伝導性 機械的強度

#### 用途

- リチウムイオン二次電池の導電助剤
- 次世代エレクトロニクス向け機能性フィラー  
他、幅広い用途に展開

相馬工場にパイロットプラントが完成  
中実験・サンプル提供を開始

電気自動車、定置用蓄電池他

自動車・電池メーカーで評価が進展

現行リチウムイオン電池の高機能化(部材代替)

全固体電池等、次世代リチウムイオン電池の開発

FY2019

FY2020

FY2021

FY2022以降

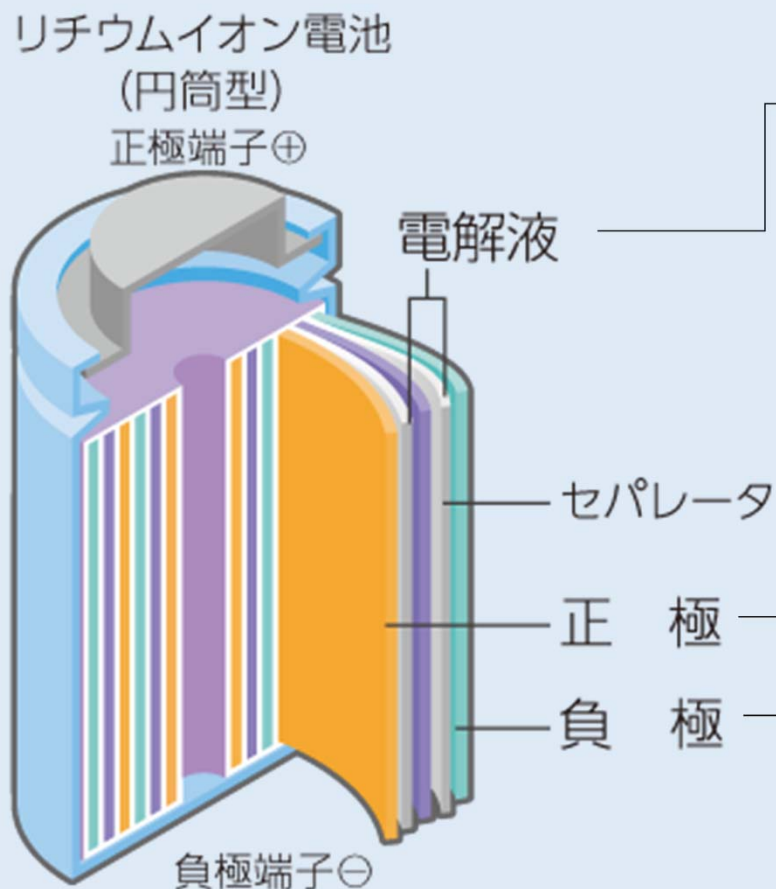
三重工場に少量生産設備を設置予定  
サンプル提供先を拡大(2020年度中)

開発・用途展開

SPAN  
上市(目標)

グラフェン  
上市(目標)

## ▲ ADEKAで開発中のリチウムイオン二次電池向け材料



### 電解液添加剤

電解液に添加することで、リチウムイオンの正極—負極往来をスムーズにするもの

- 長寿命（電池性能の劣化防止）
- 安全性（発煙・発火防止）

### 電極活物質「SPAN」

リチウムイオンを正極—負極間でそれぞれ吸蔵／放出することで充放電がなされるもの























- 安全性（発煙・発火リスクの排除）
- 長寿命
- 軽量化

### 導電助剤「グラフェン」

正極／負極それぞれにおいて電子の電導性を高めることで充放電パフォーマンスを高めるもの

- 充電速度の向上
- 長寿命

# ADEKAのCSR優先課題

	優先領域	CSR優先課題
E	環境	地球環境の保全    
		環境貢献製品の提供   
S	豊かな暮らし・コミュニケーション	社会の期待に応える価値創出      
		ステークホルダーとの対話 
	人権・人財	人権の尊重   
		人財活躍の機会拡大    
G	ガバナンス	グループガバナンス・リスクマネジメントの強化 

## 現状

### 各職場での感染リスクの低減を最優先で実施

- ✓ 出勤時と帰宅時に自宅での検温と体調管理を義務化
- ✓ 手洗い、マスク着用、アルコール消毒を徹底
- ✓ 国内外のグループ各社で連携し、従業員へマスクを配布

### リモートワークの活用で働き方を多様化

- ✓ リモートワーク用PCやWiFiを社員へ貸与し在宅勤務の実施
- ✓ 時差出勤の推奨、輪番出社の実施
- ✓ 長距離出張の管理、社内外の会議やミーティングのオンライン化

## 今後

- リモートワークの継続、業務のデジタル化推進
- 働き方の多様化により、ワークライフバランスの向上や自己研鑽を推進し、高度なスキルを持つ人財を育成
- 新常態（ニューノーマル）後も人財活躍の機会拡大を図る

# 設備投資の2020年度方針

**実行中の設備投資は継続、新規設備投資は抑制**  
**状況を見定めつつ、中長期成長を支える投資計画を策定**

セグメント	地域	対象製品	完工予定時期
樹脂添加剤	米国	添加剤製造設備／新設	2020年度中 (予定)
情報・電子化学品	韓国	DRAM向け 半導体材料設備／増設	
〃	千葉工場	半導体周辺材料／増設	
機能化学品	相馬工場	潤滑油添加剤関連／増設	
食品	鹿島工場	原料油貯蔵タンク／増設	

# 5. ご参考

**未来を拓く**

**イノベーション**

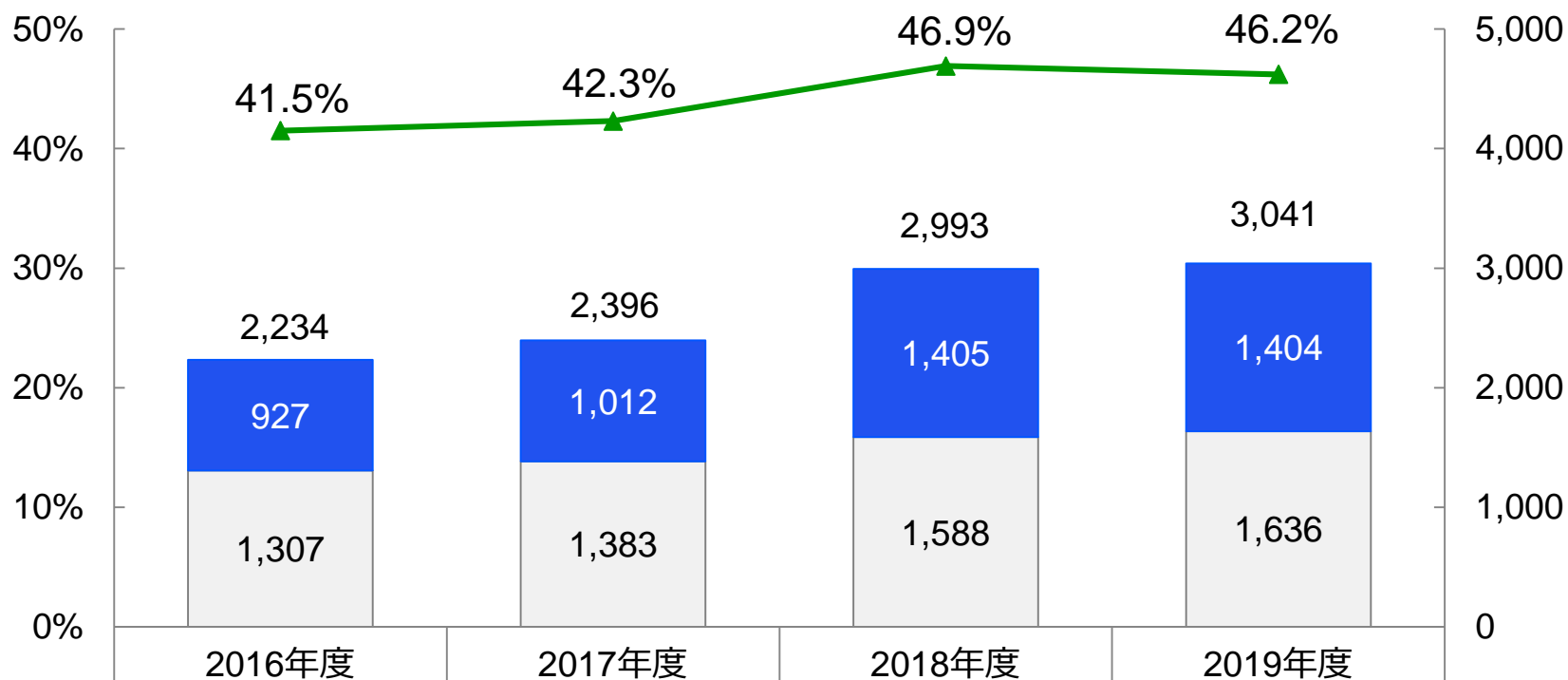
**ADEKAが変わる**

**世界を変える**



# 海外売上高（ご参考）

（単位：億円）



■ 海外売上高	927	1,012	1,405	1,404
■ 国内売上高	1,307	1,383	1,588	1,636
▲ 海外売上高比率	41.5%	42.3%	46.9%	46.2%
売上高	2,234	2,396	2,993	3,041

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 2020年3月期 決算説明補足資料

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考
  - ◆ 単独・連結子会社の決算概要
  - ◆ ADEKAグループ概要（連結子会社・持分法適用会社）
  - ◆ 事業区分別主力製品

# 1-1 連結貸借対照表

## 連結

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2019.3.31現在)	当連結会計年度 (2020.3.31現在)	前期末比 増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	233,087	227,635	△ 5,452
固定資産	181,462	181,816	354
有形固定資産	108,672	113,230	4,557
無形固定資産	17,596	16,370	△ 1,226
投資その他の資産	55,193	52,216	△ 2,976
資産合計 ①	414,549	409,452	△ 5,097
<b>負債の部</b>			
流動負債	107,156	92,704	△ 14,452
固定負債	62,893	66,114	3,220
負債合計 ②	170,049	158,818	△ 11,231
<b>純資産の部</b>			
株主資本	190,772	201,412	10,639
資本金	22,944	22,994	50
資本剰余金	20,023	19,986	△ 37
利益剰余金	148,630	158,872	10,242
自己株式	△ 825	△ 441	384
その他の包括利益累計額	13,807	8,854	△ 4,953
その他有価証券評価差額金	10,098	6,541	△ 3,556
土地再評価差額金	4,253	4,253	-
為替換算調整勘定	1,867	155	△ 1,712
退職給付に関する調整累計額	△ 2,411	△ 2,096	315
非支配株主持分	39,919	40,367	447
純資産合計	244,500	250,634	6,133
負債及び純資産合計	414,549	409,452	△ 5,097

## POINT①

資産合計の減少 △ 50億円  
 受取手形及び売掛金の減少 △ 86億円

## POINT②

負債合計の減少 △ 112億円  
 支払手形及び買掛金の減少 △ 101億円

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

# 1-2 キャッシュフロー計算書 (要約)

## 連結

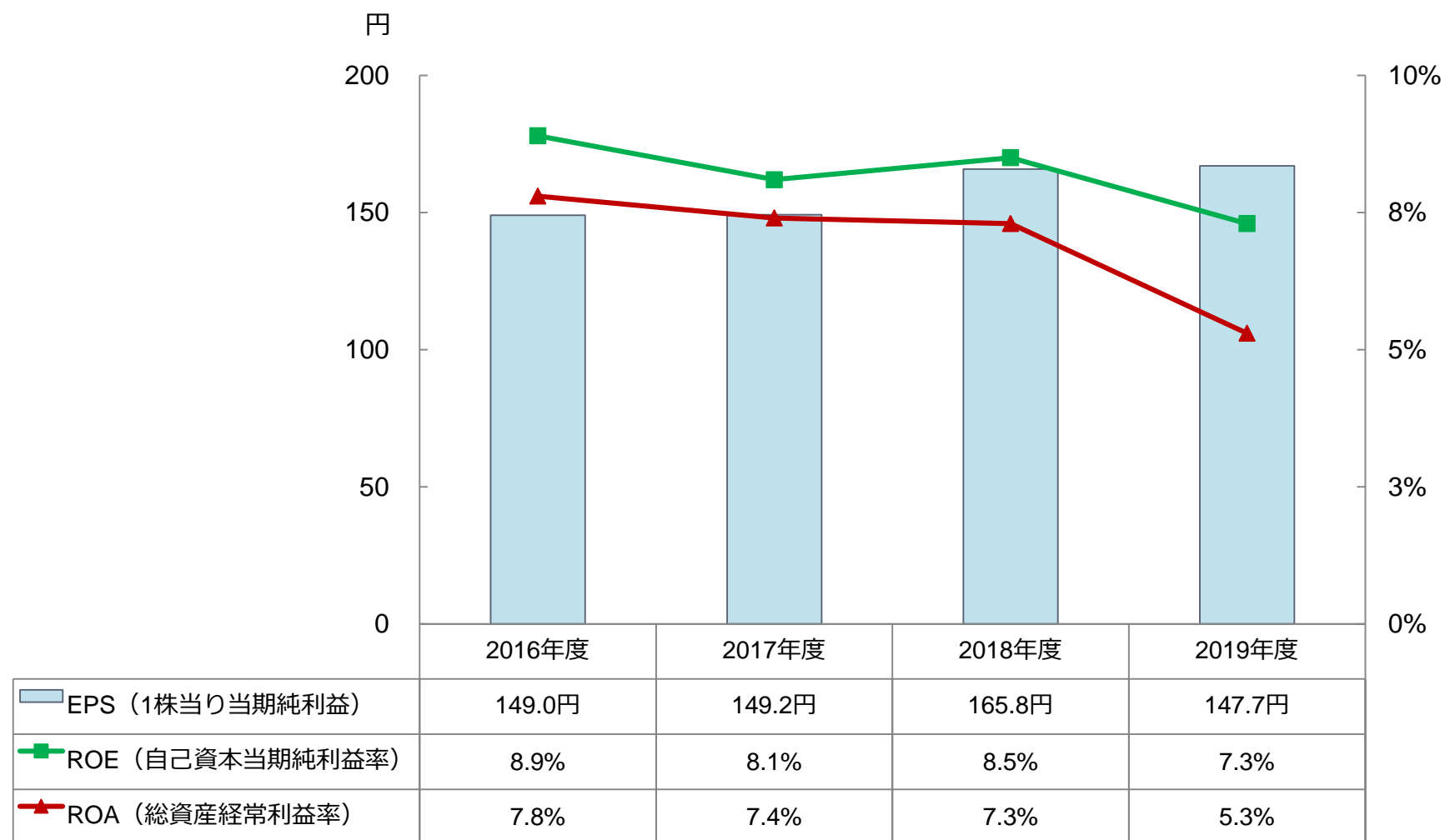
(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ①	18,331	27,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,258	△ 15,228
財務活動によるキャッシュ・フロー ②	8,995	△ 7,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,465	△ 290
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,602	4,383
現金及び現金同等物の期首残高	48,902	56,504
現金及び現金同等物の期末残高	56,504	60,888

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

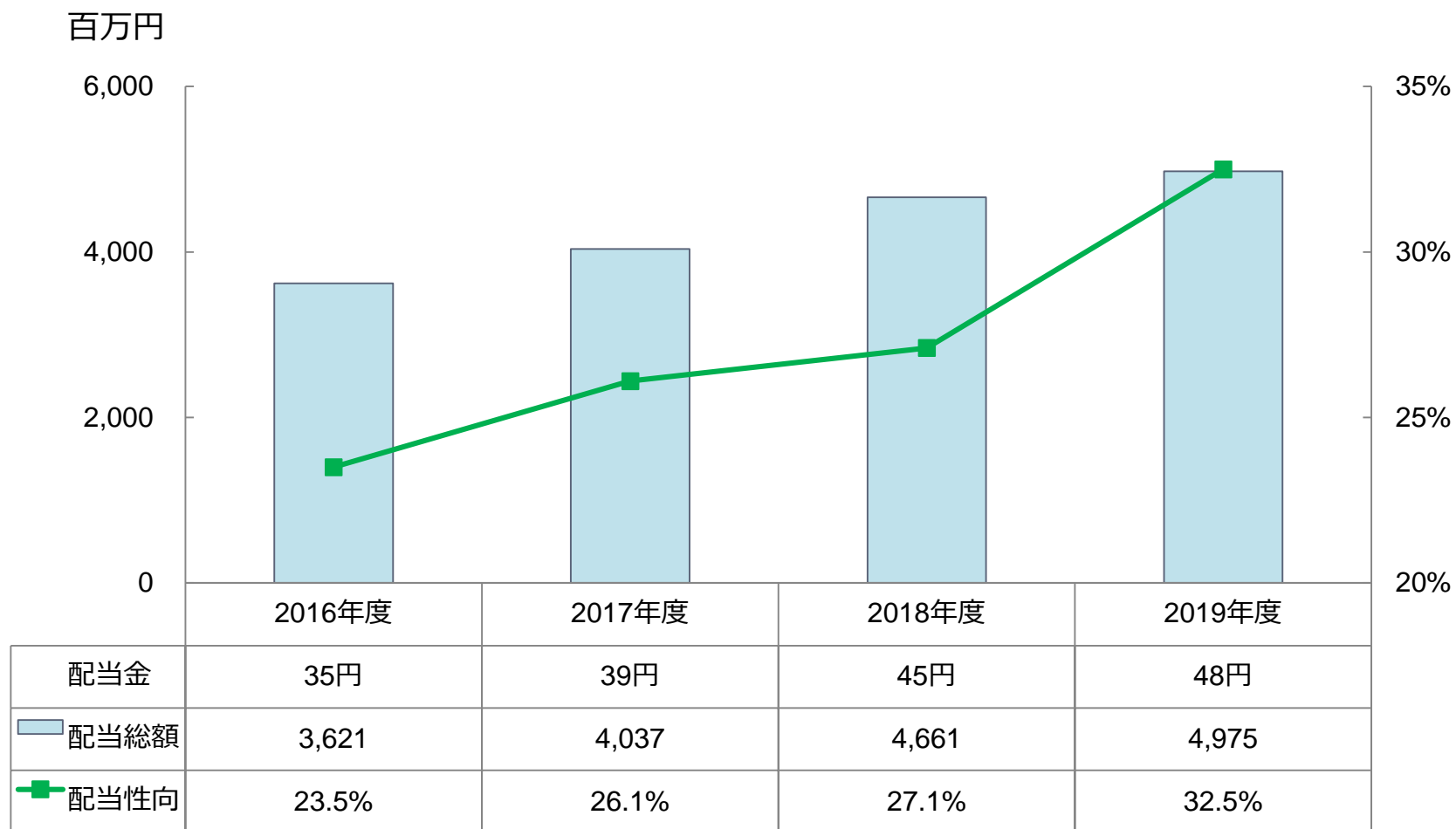
# 2-1 収益性

## 連結



# 2-2 配当金、配当性向

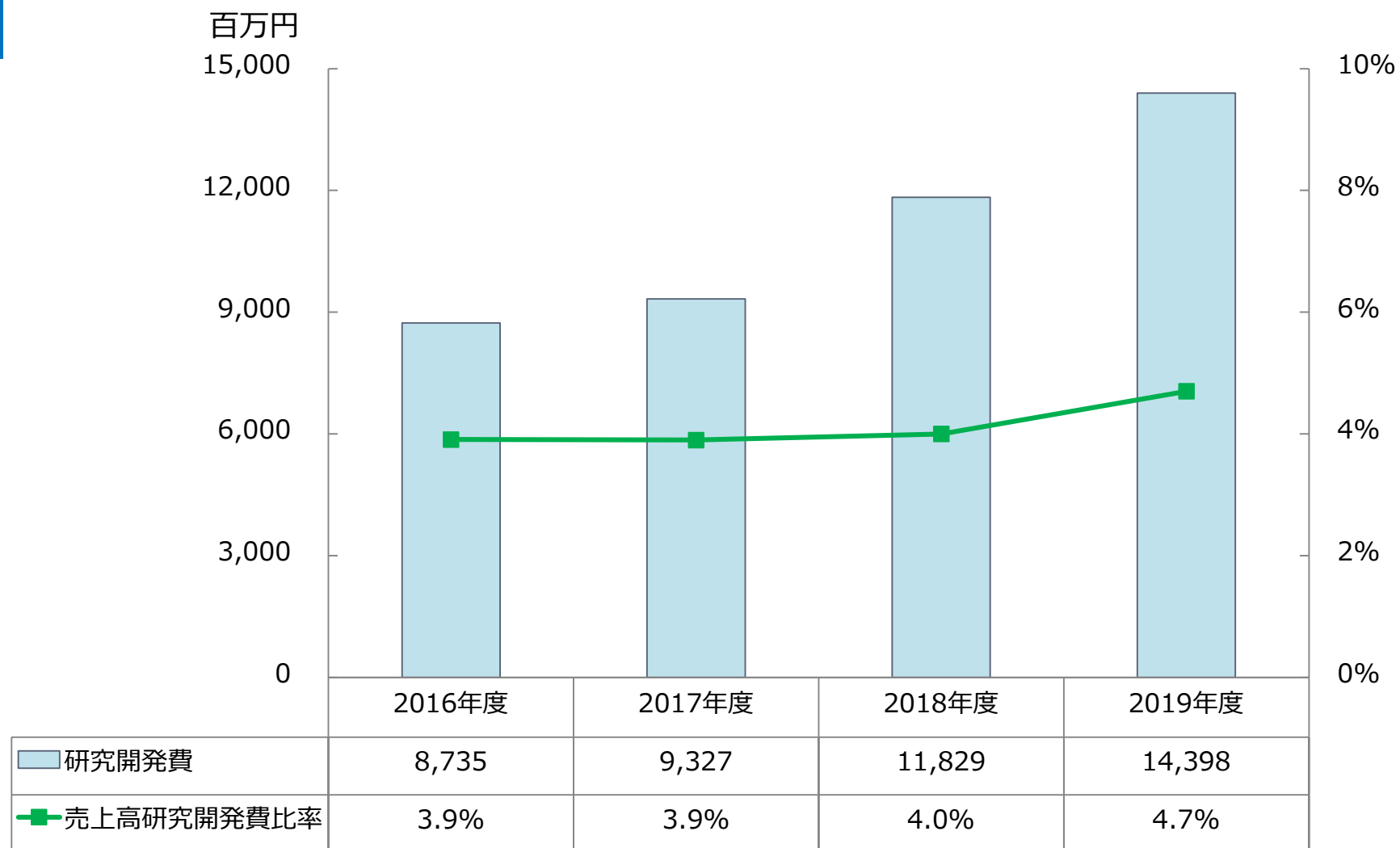
## 連結



注1) 2016年度の配当金には、創立100周年記念配当金5円を含む 注2) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

# 2-3 研究開発費

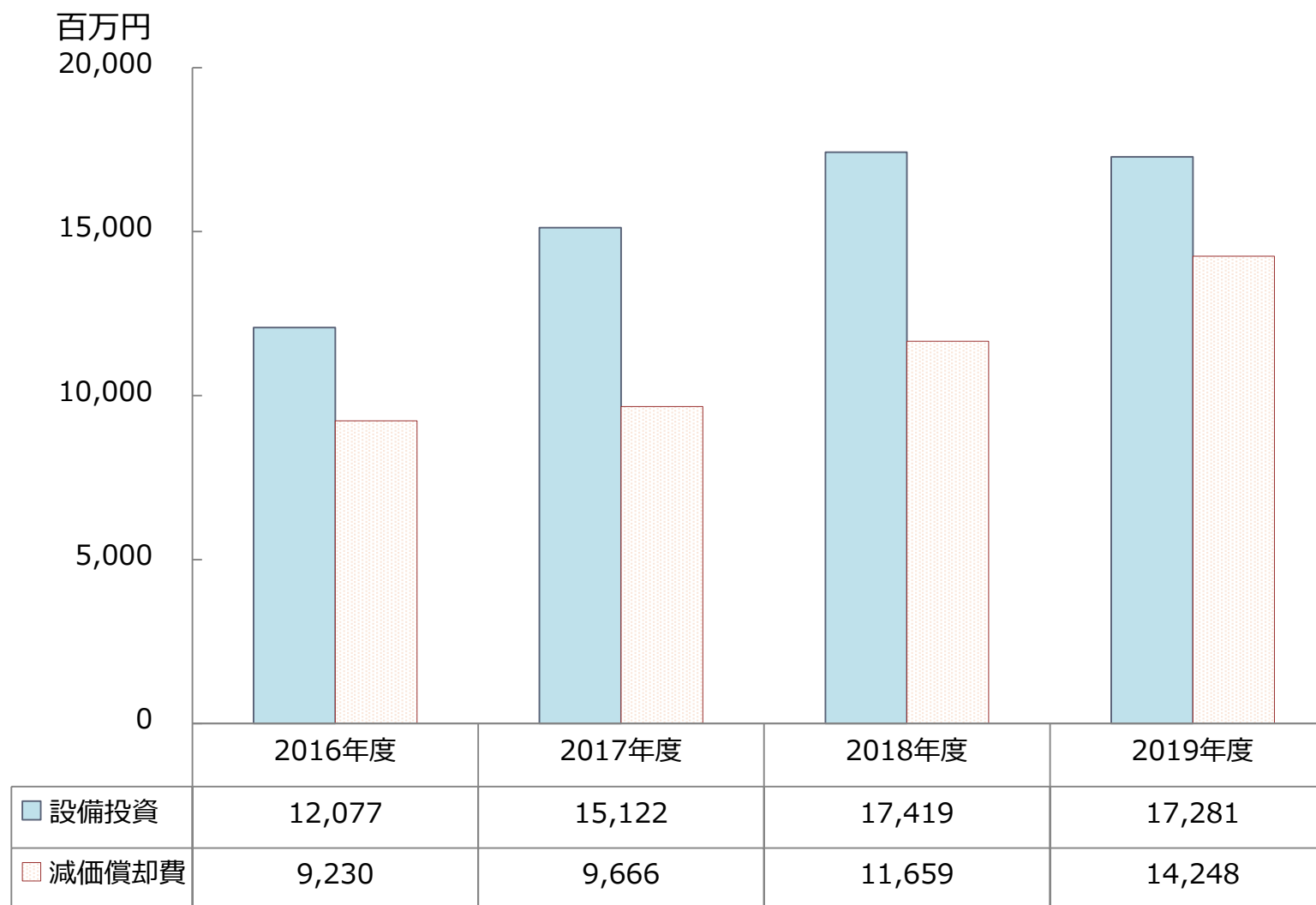
連結



注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

# 2-4 設備投資

## 連結

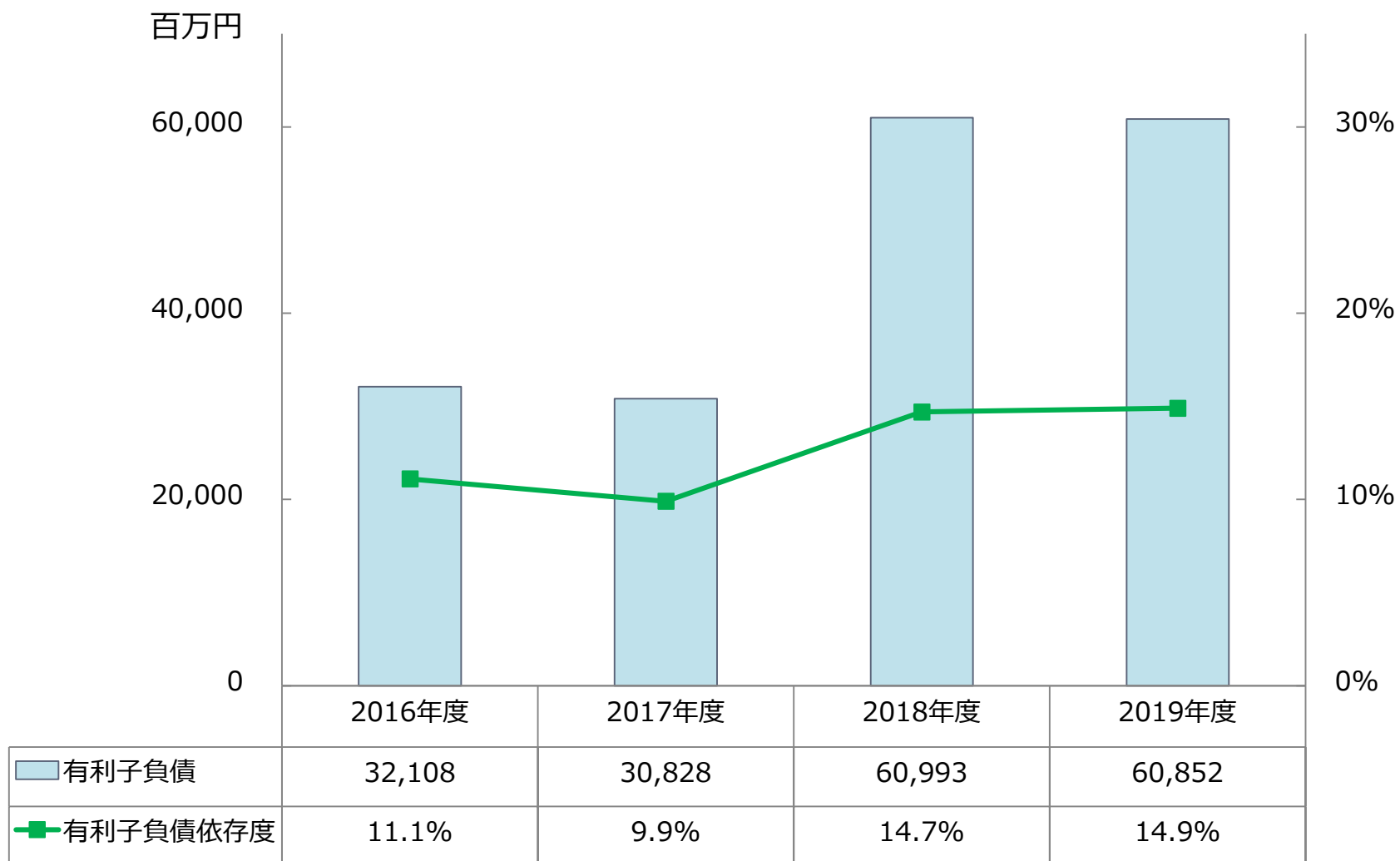


注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示



# 2-5 有利子負債

## 連結



注) 有利子負債は百万円未満を切り捨てて表示

# 3-1 単独・連結子会社の決算概要 (2018年度)

■ 単独  
■ 連結

(単位：億円)

単独決算				
	2018年度	2019年度	増減	増減率(%)
売上高	1,346	1,286	△ 60	△ 4.5
営業利益	122	99	△ 22	△ 18.3
経常利益	157	131	△ 26	△ 16.5
当期純利益	124	118	△ 6	△ 5.0
1株当たり純利益	120.6	114.5		

国内 (11社)				
	2018年度	2019年度	増減	増減率(%)
売上高	926	901	△ 24	△ 2.7
営業利益	19	15	△ 3	△ 17.6

海外 (16社)				
	2018年度	2019年度	増減	増減率(%)
売上高	1,579	1,364	△ 214	△ 13.6
営業利益	105	92	△ 12	△ 12.0

日本農薬 (10社)				
	2018年度	2019年度	増減	増減率(%)
売上高	344	604	259	75.5
営業利益	37	34	△ 3	△ 8.1

連結調整 (消去他)		
	2018年度	2019年度
売上高	△ 1,201	△ 1,114
営業利益	△ 17	△ 17

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

## 3-2 連結子会社概要（国内16社①）

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	100.00 (間接所有5.57)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.64	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト、調理食品の製造、販売
食品	(株)クラウン	10百万円	100.00	油脂類、製粉、香料など食品材料及び加工食品などの卸売

## 3-2 連結子会社概要 (国内16社②)

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
ライフサイエンス	日本農薬(株)	14,939百万円	51.00	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料などの製造、販売
ライフサイエンス	(株)ニチノー緑化	160百万円	100.00 (間接所有100.00)	ゴルフ場用・家庭園芸用・緑化用薬剤の販売、芝・芝関連資材の販売、造園・芝生地の設計・施工など
ライフサイエンス	(株)ニチノーサービス	3,400百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬等の受託製造及び製造販売業、農薬等の保管・配送業務の請負、圃場・栽培管理の請負、不動産の管理業務など
ライフサイエンス	日本エコテック(株)	20百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬残留分析、化学物質の安全性試験など
ライフサイエンス	(株)アグリマート	50百万円	100.00 (間接所有100.00)	白蟻防除資材、防疫用殺虫剤等の販売など
その他	A D E K A 物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	A D E K A 総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	A D E K A ライフクリエイイト(株)	65百万円	100.00 (間接所有20.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

# 3-3 連結子会社概要 (海外23社①)

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率 (%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USD	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USD	60.00	樹脂添加剤の製造、販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USD	100.00 (間接所有 100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
米国	ライフサイエンス	Nichino America, Inc.	70万USD	100.00 (間接所有 100.00)	米国における農薬の販売、普及、開発、登録など
ブラジル	ライフサイエンス	Sipcam Nichino Brasil S.A.	500万BRL	50.00 (間接所有 50.00)	ブラジルにおける農薬の製造、販売など
ドイツ	化学品	ADEKA Europe GmbH	50万EUR	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万EUR	100.00 (間接所有 100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
中国	化学品	艾迪科(中国)投資有限公司	3,100万USD	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(上海)有限公司	2,050万USD	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(常熟)有限公司	2,154万USD	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
中国	食品	艾迪科食品(常熟)有限公司	2,300万USD	70.00	加工油脂、加工食品の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(浙江)有限公司 ※	3,000万USD	100.00 (間接所有 100.00)	樹脂添加剤など化学製品の製造、販売

注) ※は2020年度から連結の範囲に追加

# 3-3 連結子会社概要 (海外23社②)

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率 (%)	事業内容
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTD	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造、販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTD	100.00	化学製品の製造、販売
台湾	ライフサイエンス	日佳農薬股份有限公司	4,000万NTD	51.00 (間接所有 51.00)	農薬の製造、販売
インド	ライフサイエンス	Nichino India Pvt. Ltd.	385万INR	100.00 (間接所有 100.00)	インドにおける農薬の販売、製造、輸出入、普及、開発など
インド	ライフサイエンス	Nichino Chemical India Pvt. Ltd.	1,050万INR	100.00 (間接所有 100.00)	インドにおける農薬の製造、販売など
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億WON	100.00	化学製品等の製造、販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	3億5,000万THB	81.00	化学製品の製造、販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USD	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800 万SGD	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.	9,000万MYR	60.00	加工油脂の製造、販売
UAE	化学品	ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC ※	4,546万AED	49.00	樹脂添加剤の製造・販売、化学品等の販売

注) ※は2020年度から連結の範囲に追加

## 3-4 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
(株)コープクリーン	80百万円	46.88	石鹼、洗剤等の開発、販売
昭和興産(株)	550百万円	20.81	合成樹脂、化学品、産業資材、情報電材、環境関連製品の販売
Agricultural Chemicals (Malaysia) SDN. BHD.	205万MYR	24.18 (間接所有24.18)	マレーシアにおける農薬の製造、販売
Sipcam Europe S.p.A.	3,694万EUR	20.00 (間接所20.00)	欧州における農薬の製造、販売

# 3-5 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ用油脂、ホイップクリーム、練り込み用クリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料等	
	その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他	



# 業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。